

親子草

長唄

全詞章

作詞者・作曲者・初演年不詳

荻江節

原典の題名「おやこぐさ」

〔三下り〕 入相^{いりあひ}には花^{はな}や散^ちりなん、曙^{あけぼの}は花^{はな}も生^{うま}るる心地^{こころ}して、眺^{なが}めに飽^あかぬ子福^{こぶくし}者の
目^めにも入^いれ育^{そだ}てあげては、目^めにあまりても子ゆゑ^この闇^{やみ}の、あとや先^{さき}
思^{おも}はぬその身^みひと盛^{さか}り

いたづらものと言^いはれうが、ああままよ、父^{とと}さんや母^{かか}さん許^{ゆる}さんせと、あどけないのも常世^{つねじよ}帯^{たい}
気^きの末^{すえ}を案^{あん}ずる親^{おや}子^こ草^{ぐさ}